

令和元年度「第2回生徒による授業評価」の集計結果について（お知らせ）

時下、保護者の皆様方におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

さて、昨年度実施致しました「第2回生徒による授業評価」の集計結果について、お知らせ致します。本校では、全職員が「確かな学力」の育成をめざして、集計結果等を参考に、学習指導のあり方を検討し、研究授業を行うなど、組織的な授業改善に取り組んでいるところです。今後もさらなる授業の改善を図ってまいります。引き続き本校の教育活動に対するご理解とご協力をお願いいたします。

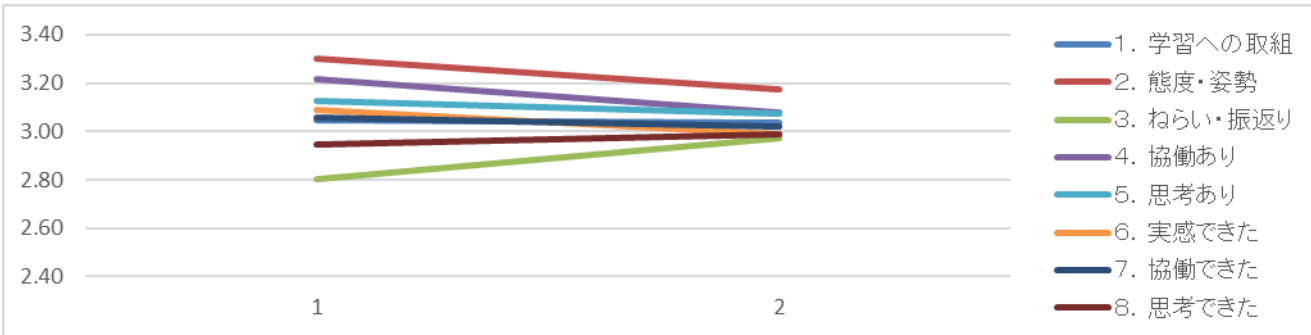
1. **実施日**：令和元年 12月 11日(月)～12月 15日(金)
2. **調査対象**：本校生徒全員（欠席者は除く）
3. **調査内容**：生徒が受けている授業（学校設定科目・総合的な探求の時間を除く）について、下記の質問項目に対してマークシートで回答する方法
「4→とてもあてはまる、3→ややあてはまる、2→あまりあてはまらない、1→ほとんどあてはまらない」
4. **集計方法**：各教科・科目において、以下の項目の回答数を番号ごとにパーセント(%)で表しました。
5. **質問項目**

自身自身の 取組状況	1	学習への取組	私は授業でわからないところがあったら、先生や友達に聞いたり、自分で調べたりするなどしてわかるよう努力をしている。
	2	態度・姿勢	私は授業に対して意欲的に取り組んでいる。
授業内容	3	授業の準備 教材の工夫	教材が工夫されるなどして、取り組みやすい授業である。
	4	授業の充実感	私は授業で学習した内容がだいたい理解できている。
	5	授業の進め方	生徒の理解度に合わせて授業が進められている。
	6	授業の目標	この授業では、生徒の学力の向上が図られている。
指導方法	7	生徒主体の 授業の工夫	授業中、生徒同士で話し合う機会や意見などを発表する機会がある。
	8	説明の 分かり易さ	説明の仕方がていねいで、わかりやすい授業である。
	9	生徒への 接し方	生徒一人ひとりに目を配った、きめ細かい指導がなされている。
	10	授業の 環境づくり	先生の指導によって、授業マナーが守られている。

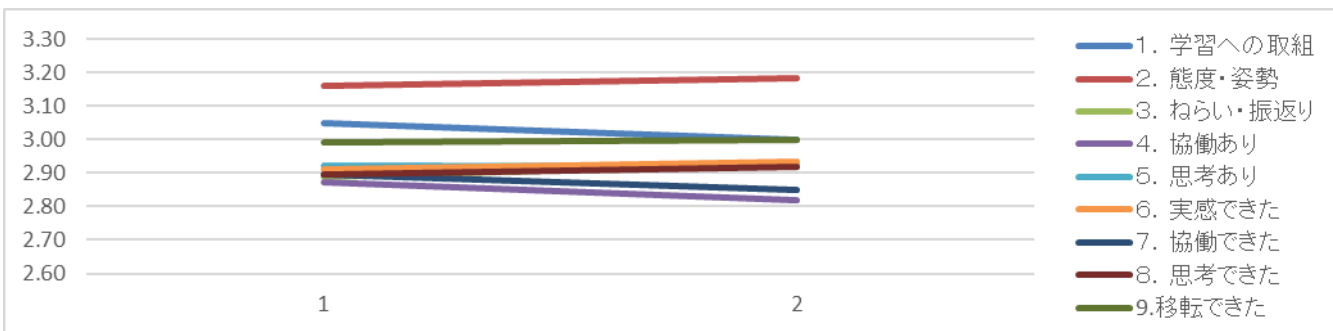
6. 教科別集計結果の前期、後期の比較

1回目は7月に実施、2回目は12月に実施

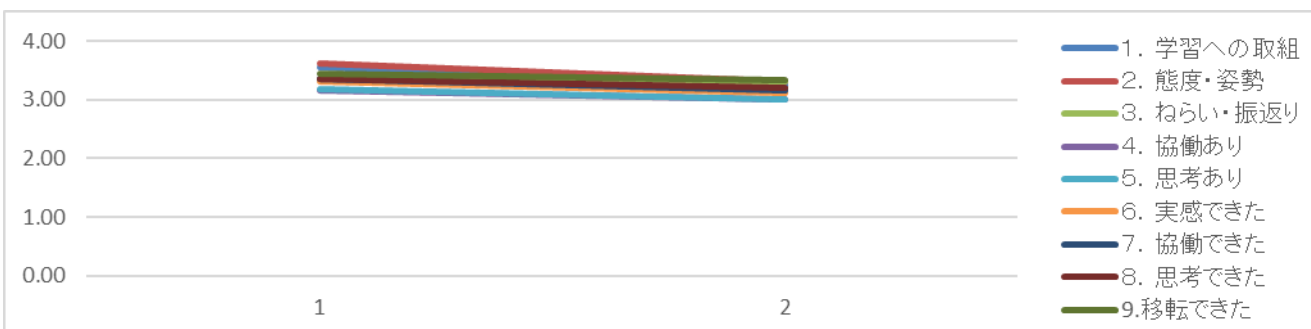
国語	1. 学習への取組	2. 態度・姿勢	3. ねらい・振返り	4. 協働あり	5. 思考あり	6. 実感できた	7. 協働できた	8. 思考できた	9. 移転できた
1回目	3.05	3.30	2.80	3.22	3.13	3.09	3.05	2.95	2.91
2回目	3.04	3.18	2.97	3.08	3.07	2.99	3.02	2.99	3.00



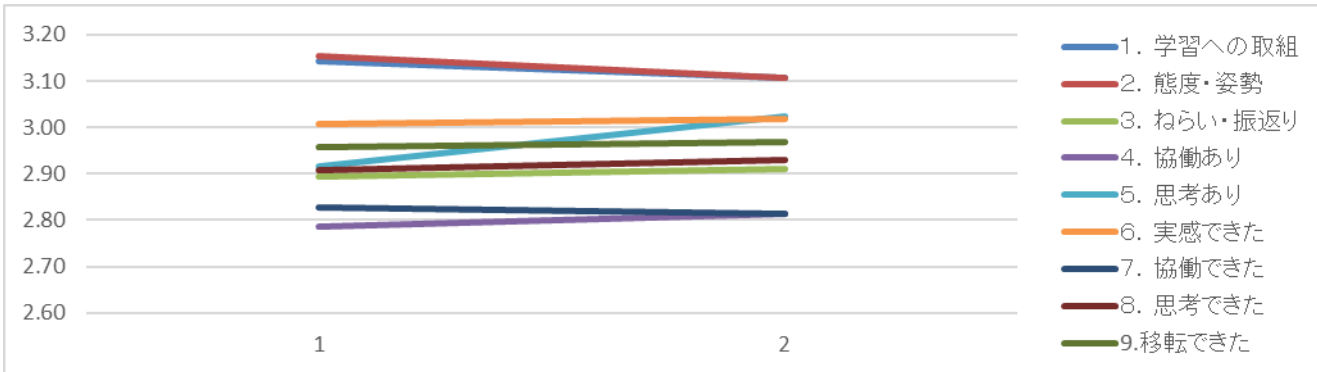
地歴科	1. 学習への取組	2. 態度・姿勢	3. ねらい・振返り	4. 協働あり	5. 思考あり	6. 実感できた	7. 協働できた	8. 思考できた	9. 移転できた
1回目	3.05	3.16	2.89	2.87	2.92	2.91	2.89	2.90	2.99
2回目	3.00	3.18	2.93	2.82	2.92	2.93	2.85	2.92	3.00



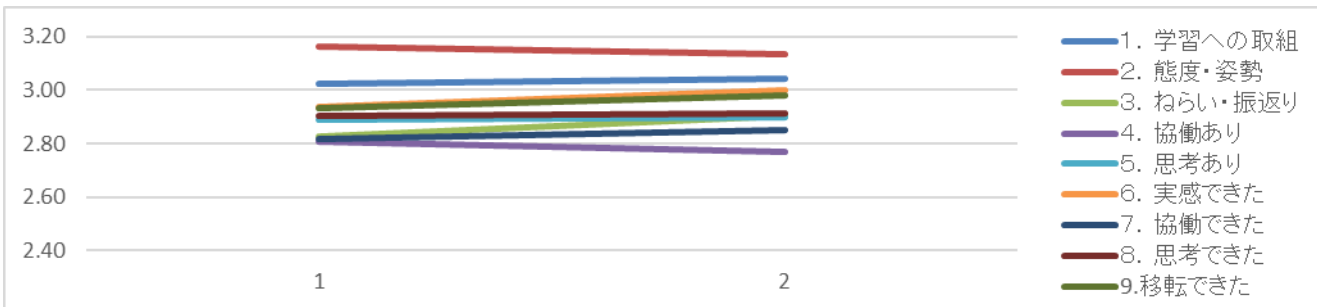
公民	1. 学習への取組	2. 態度・姿勢	3. ねらい・振返り	4. 協働あり	5. 思考あり	6. 実感できた	7. 協働できた	8. 思考できた	9. 移転できた
1回目	3.56	3.61	3.34	3.15	3.19	3.32	3.36	3.36	3.44
2回目	3.25	3.31	3.31	3.00	3.00	3.12	3.17	3.21	3.33



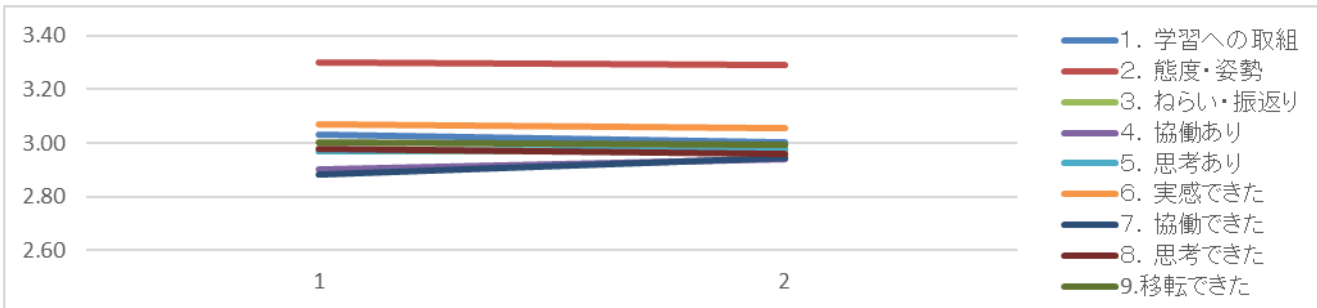
数学									
	1. 学習への取組	2. 態度・姿勢	3. ねらい・振返り	4. 協働あり	5. 思考あり	6. 実感できた	7. 協働できた	8. 思考できた	9. 移転できた
1回目	3.14	3.15	2.89	2.79	2.92	3.01	2.83	2.91	2.96
2回目	3.11	3.11	2.91	2.81	3.02	3.02	2.81	2.93	2.97



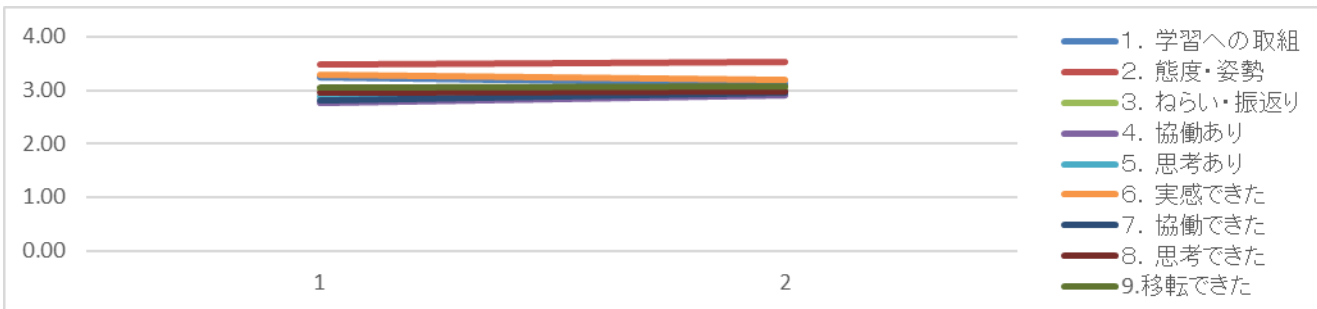
理科									
	1. 学習への取組	2. 態度・姿勢	3. ねらい・振返り	4. 協働あり	5. 思考あり	6. 実感できた	7. 協働できた	8. 思考できた	9. 移転できた
1回目	3.03	3.17	2.83	2.81	2.89	2.94	2.82	2.90	2.93
2回目	3.04	3.13	2.90	2.77	2.90	3.00	2.85	2.91	2.98



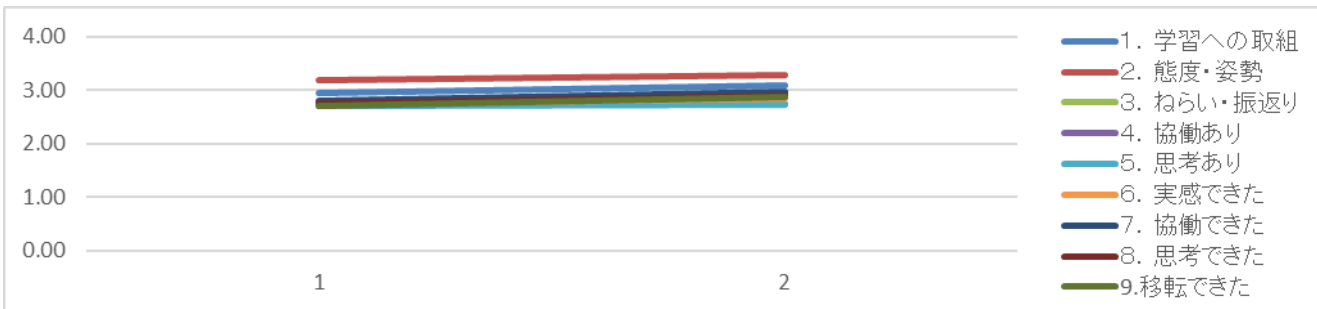
保健体育科									
	1. 学習への取組	2. 態度・姿勢	3. ねらい・振返り	4. 協働あり	5. 思考あり	6. 実感できた	7. 協働できた	8. 思考できた	9. 移転できた
1回目	3.03	3.30	2.97	2.90	2.97	3.07	2.88	2.98	3.00
2回目	3.00	3.29	2.97	2.94	2.98	3.06	2.94	2.96	2.99



芸術(音楽)									
	1. 学習への取組	2. 態度・姿勢	3. ねらい・振返り	4. 協働あり	5. 思考あり	6. 実感できた	7. 協働できた	8. 思考できた	9. 移転できた
1回目	3.25	3.48	3.03	2.76	2.88	3.29	2.81	2.96	3.05
2回目	3.12	3.53	3.01	2.91	2.98	3.20	2.95	2.99	3.07

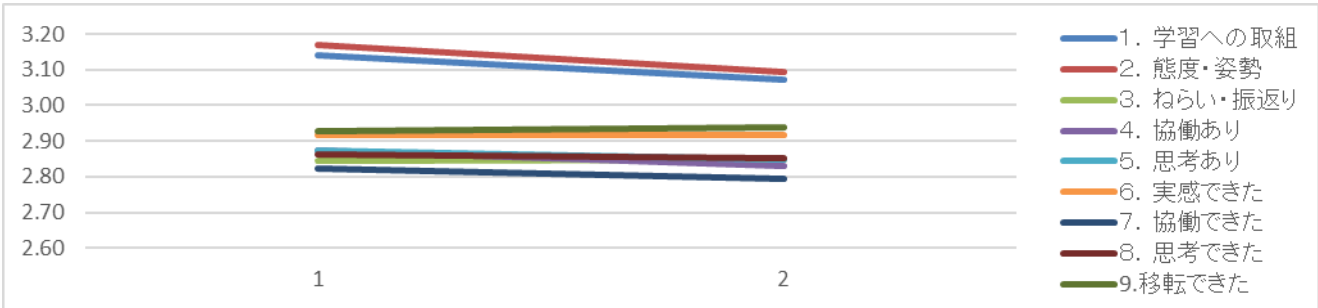


芸術(美術)									
	1. 学習への取組	2. 態度・姿勢	3. 授業の準備・教材の工夫	4. 授業の充実感	5. 授業の進め方	6. 授業の目標	7. 生徒主体の授業の工夫	8. 説明の分かり易さ	9. 生徒への接し方
1回目	2.94	3.18	2.74	2.77	2.71	2.74	2.80	2.74	2.70
2回目	3.09	3.29	2.75	2.94	2.72	2.84	2.98	2.90	2.88



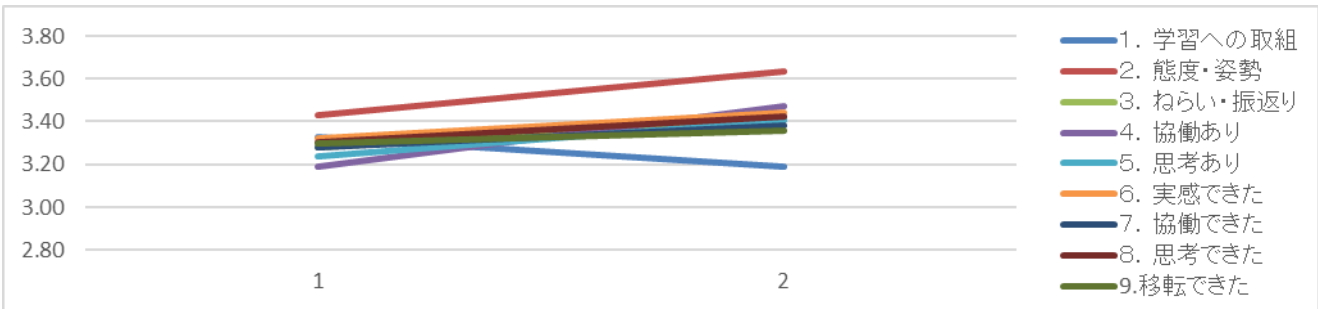
外国語

	1. 学習への取組	2. 態度・姿勢	3. ねらい・振り返り	4. 授業の充実感	5. 授業の進め方	6. 授業の目標	7. 生徒主体の授業の工夫	8. 説明の分かり易さ	9. 生徒への接し方
1回目	3.14	3.17	2.84	2.87	2.87	2.92	2.82	2.86	2.93
2回目	3.07	3.09	2.85	2.83	2.85	2.91	2.79	2.85	2.94



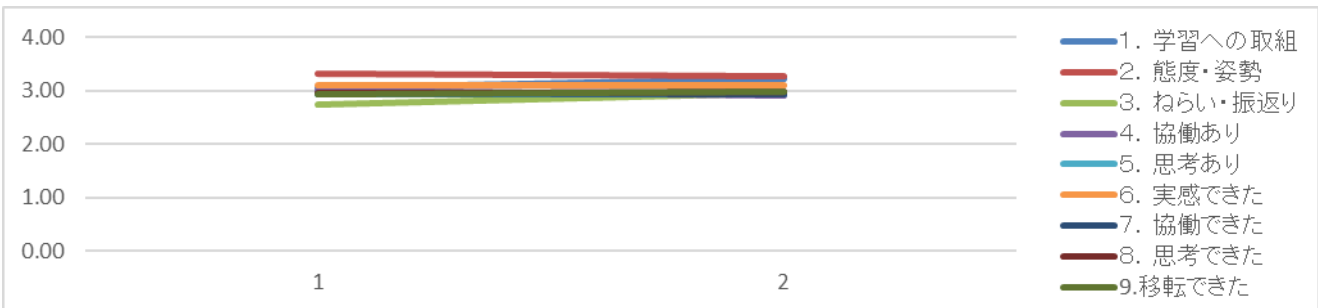
家庭科

	1. 学習への取組	2. 態度・姿勢	3. ねらい・振り返り	4. 授業の充実感	5. 授業の進め方	6. 授業の目標	7. 生徒主体の授業の工夫	8. 説明の分かり易さ	9. 生徒への接し方
1回目	3.33	3.43	3.28	3.19	3.24	3.32	3.28	3.30	3.30
2回目	3.19	3.63	3.41	3.47	3.41	3.44	3.38	3.43	3.36



情報

	1. 学習への取組	2. 態度・姿勢	3. ねらい・振り返り	4. 授業の充実感	5. 授業の進め方	6. 授業の目標	7. 生徒主体の授業の工夫	8. 説明の分かり易さ	9. 生徒への接し方
1回目	3.04	3.31	2.74	2.99	2.92	3.10	2.95	2.95	2.94
2回目	3.21	3.27	2.95	2.89	2.94	3.09	2.93	2.97	2.98



教科	教科で検討した内容
国語	<p>(分析)生徒自身の「学習への取組」の数値は全体での科目において、比較的高い数値である。一方で学習の「ねらい」や、学習内容の理解や習得への「実感」が概ね低い。</p> <p>(課題及び改善の具体的手だて)関心をもって学習に取り組む姿勢の生徒が多いが、内容の理解や習得の「実感」が薄いことから、学習内容を明確に提示し、授業の目的や身に付ける力を明示していくことで、生徒が目的意識をもって学習に取り組むことができるよう促したい。そのために単元の学習内容、目的を整理し、授業の計画や教材研究に取り組むよう改善していきたい。</p>
地歴	<p>(分析)第一回と第二回の比較で変動が少ない。国立教育政策研究所の研究指定の影響もあり、全担当者で改善に取り組んだ結果、ばらつきが少なく安定したと判断する。</p> <p>(課題及び改善の具体的手だて)生徒主体の授業の工夫の数値については、まだ不十分であると考えられる。生徒自身の活動によって理解を深める授業の実践を深めたい。</p>
公民	<p>(分析)第一回と第二回の比較では、第二回が全般的に下降気味である。分かり易い授業に取り組むとともに、生徒による活動も取り入れたが、授業形態の変化と生徒の授業に対して求めるものとのバランスを考える必要がある。</p> <p>(課題及び改善の具体的手だて)新科目である「公共」の視点もとりいれ、生徒主体の活動を行うことによって、学習への意欲を喚起したい。</p>
数学	<p>(分析)教科全体としては第1回とほぼ同様の集計結果となっている。数学Ⅰ・Aと数学Ⅲにおいては、それぞれの評価項目で安定した結果となっている。バランスもよく生徒の取り組みが数値にも表れている。数学Ⅱと数学Bにおいては、やや評価項目により偏りが見られる。平均的な数値もやや低いものとなっているのは、学年による授業への興味関心や取り組みの姿勢を示している。すべての科目で各項目の数値が高くなるのが望ましいが、一定程度の幅で安定していると判断できる。</p> <p>(課題及び改善の具体的手だて)各科目担当で日頃の連携を密にすることや、教材や指導法についての情報を共有するなどの取り組みを、教科全体で組織的に継続する。</p>
理科	<p>(分析)</p> <p>過去5年間のデータと比較すると、「学習への取り組み」、「態度、姿勢」の値が最高値となっている。また今回のデータを選択科目と必修科目で比較すると、選択科目は必修科目に比べ、すべての項目で若干高い値の回答となっている。</p> <p>(課題及び改善の具体的手だて)</p> <p>必修科目においては、生徒の興味・関心を引き出し、取り組みが上昇するよう授業の工夫が必要と考えられる。選択科目においても、更に興味・関心を高め、取り組みが上昇するよう工夫を続ける必要があると考えられる。</p>
英語	<p>(分析)</p> <p>1回目と比べて9項目中7項目が下がっていた。また、5年間の経年比較をしても、多くの項目で若干数値が下がっていた。特に「協働」の項目では0.3ポイント程度の低下がみられた。科目別でみると、クラス単位で行うコミュニケーション英語よりも、少人数で行う英語表現の方が数値が高く見られていた。ただ、教科全体で「学習への取り組み」については過去5年間で2番目に良い数値だったので、生徒の授業中の取り組みは良かったといえる。</p> <p>(課題及び改善の具体的手だて)</p> <p>今後クラス単位で行う授業の中でも生徒への指導が行き届くよう工夫をしていく。また、ペアワークやグループワーク等の活動を授業中で増やしていきたい。</p>
保健体育	<p>(分析)</p> <p>体育では、第一回の集計と同様、全学年「態度・姿勢」「実感できた」の項目が高く、意欲的に活動が出来ていたことが分かる。また、目標達成や課題解決、上達の実感できていることが分かる。保健でも「態度・姿勢」の項目が高い。健康に関する興味・関心が高く積極的に関わろうとしていることが分かる。</p> <p>(課題及び改善の具体的手だて)</p> <p>引き続き、提出物において生徒の振り返り活動を充実させることで、目標達成や課題解決に向けた意識の涵養、競技技術の向上の実感ができる活動に努めたい。</p>

音楽	<p>(分析)どの項目からも、生徒が授業に対して非常に意欲的に取り組んでいることが伺える。また、音楽I・音楽IIともに目標や課題に対し、上達の実感を得ていることがわかる。「協働」や「思考」面に関してやや低い傾向がある。</p> <p>(課題及び改善の具体的手だて)集計結果から、協働や思考した取り組みを行うため、今後グループ活動や発表する場を増やしていくとともに、パート練習やアンサンブル等、他者と協力しながら取り組む授業展開を工夫し実践していきたい。</p>
美術	<p>(分析)第1回に引き続きおおむね良好であり、第2回にかけて全般的に上昇した。生徒の制作に対する時間の確保ができているが、授業の進め方については評価の上昇の割合が低く、改善の余地がある。</p> <p>(課題及び改善の具体的手だて)新学習指導要領の内容を踏まえながら、表現と鑑賞を相互に関連させた深い学びができる題材の精査と、体系だったカリキュラム作りに努めたい。</p>
家庭	<p>(分析)家庭基礎では、多くの項目で第1回からの評価が向上している。一方で、項目1に関しては数値の低下がみられ、授業の構成上、実習回数が減ったことによる学習意欲の低下が窺える。</p> <p>(課題及び改善の具体的手だて)今後は、家庭基礎と自由選択科目の授業計画を練り直し、一人ひとりの学習意欲を高めていけるよう工夫・改善していく。</p>
情報	<p>(分析)授業内で生徒の活動を充実させ、学習の意欲、姿勢を高めることはできたが、協働という視点から高めることはやや不足していた。</p> <p>(課題及び改善の具体的手だて)集計結果から、单元ごとや1時間の授業計画の中で生徒が協働できる場面を考え、より一層の学習の充実を心掛ける。</p>